

令和8年度 理科 第1学年 指導・評価計画

学期	題材名	教材名	評価の観点			評価規準	主な評価方法	主な評価基準 (おおむね満足できる B)
			知識技能	思考判断表現	態度			
1	いろいろな生物とその共通点	生物の観察と分類のしかた	○	○	○	観察・実験に使用する器具を正しく使うことができる。	発言 観察・実験 定期テスト	観察・実験を器具を正しく使い、対象物の特徴をまとめることができる。
		植物の分類				特徴をもとに植物の分類を行うことができる。		植物が体のつくりの特徴に基づいて分類できることを見いだすとともに、植物の種類を知る方法を身につけることができる。
		動物の分類				セキツイ動物を特徴から分類することができる。		セキツイ動物の5つのグループの、それぞれの特徴を説明することができる。
	身のまわりの物質	身のまわりの物質とその性質	○	○	○	身のまわりの物質について、目的意識を持って観察・実験を行う。	発言 観察・実験 定期テスト	観察実験の結果を分析して解釈し表現する方法を身につけている。
		気体の性質				気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体の種類による特性を知る。		気体の発生方法やその性質を調べる方法を理解し、知識を身につけている。
		水溶液の性質				水溶液の性質を理解している。		水溶液に溶けている物質を取り出す方法を身につけている。 質量パーセント濃度を計算することができる。
2	身のまわりの現象	物質の姿と状態変化				物質の状態変化について実験を行い、様々な性質を理解している。	発言 観察・実験 定期テスト	融点や沸点は、物質の種類によって決まっていることを理解している。 混合物から物質を分離できる方法を身につけている。
		光の世界	○	○	○	光の反射・屈折・全反射の違いを理解している。		光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだすことができる。
		音の世界				音の大小や高低と物体の振動数との関係を理解している。		音の高さや大きさは発音体の振動の仕方に関係することを見いだすことができる。
	大地の変化	力の世界				基本的な概念を理解し、知識を身につけている。物体が動かないとき、2力が一直線上にあり、向きが逆で大きさが等しいことを指摘できる。	発言 観察・実験 定期テスト	基本的な概念について説明することができる。
		火をふく大地	○	○	○	火山の形と色、マグマのねばりけと色の関係を理解している。		火山の形、活動の様子及び噴出物を調べ、地下のマグマの性質と関連付けてとらえることができる。
		動き続ける大地				プレートの動きから地震の起こる原因を説明することができる。		初期微動と主要動の速さ、初期微動継続時間と震源からの距離との関係を説明することができる。

		地層から読みとる大地の変化				堆積岩の粒の大きさや構成物の違いで種類を区別する。		地層とその中の化石を手掛かりとして過去の環境と地質年代を推定することができる。
--	--	---------------	--	--	--	---------------------------	--	---